

草津の “これからの10年” を語るフォーラム

～草津のまちで「もっと」高めていきたい“シビックプライド(市民としての誇り)”！～

プログラム・資料

プログラム

第Ⅰ部	報告！これまでの取り組みについて		
	■開会あいさつ	市長 橋川渉	13：30
	■総合計画って何？	草津市企画調整課	13：35
	○総合計画とは		
	○総合計画検討の取組経過の報告		
	■市民参画アラカルト	草津市企画調整課	13：40
	○市民と行政の取組		
	「市民会議」		
	○はじめての試み		
	「座・でいすかす」		
	■総合計画 基本構想案の紹介	草津市企画調整課	13：50
<hr/>			
第Ⅱ部	“これからの10年”を大いに語る！		
	■基調講演	佐和隆光さん	14：00
	「持続可能で豊かな社会を」	(立命館大学教授・京都大学経済研究所特任教授)	
<hr/>			
休憩			15：00
<hr/>			
	■パネルディスカッション	【パネリスト】	15：15
	「まちづくりにおける市民と行政の役割とは」	織田直文さん (草津市総合計画策定懇話会副座長)	
		大田信光さん (草津市総合計画策定市民会議代表)	
		土山希美枝さん (草津市自治体基本条例検討委員会委員長)	
		山中勝利さん (草津青年会議所直前理事長)	
		橋川渉 (草津市長)	
		【コーディネーター】	
		肥塚浩さん (草津市総合計画審議会会長)	
	■閉会		16：25

総合計画って何？
総合計画とは

総合計画って何？

総合計画とは

総合計画とは、
草津市のまちづくりの
基本となる計画です。

総合計画の構成

草津市の現状と課題

基本構想

基本計画

総合計画の構成

草津市の現状と課題

- ・位置と地勢
- ・地域の特性
- ・人口の見通し
- ・時代の潮流
- ・国・県の動向
- ・主要な課題

基本構想

- ・将来ビジョン
- ・まちづくりの基本方向
- ・行政の姿勢と役割

基本計画

- ・リーディング・プロジェクト
- ・施策
- ・計画の推進

計画期間

基本構想

平成22(2010)年度～平成32(2020)年度まで

基本計画

第1期

平成22(2010)年度～
平成24(2012)年度

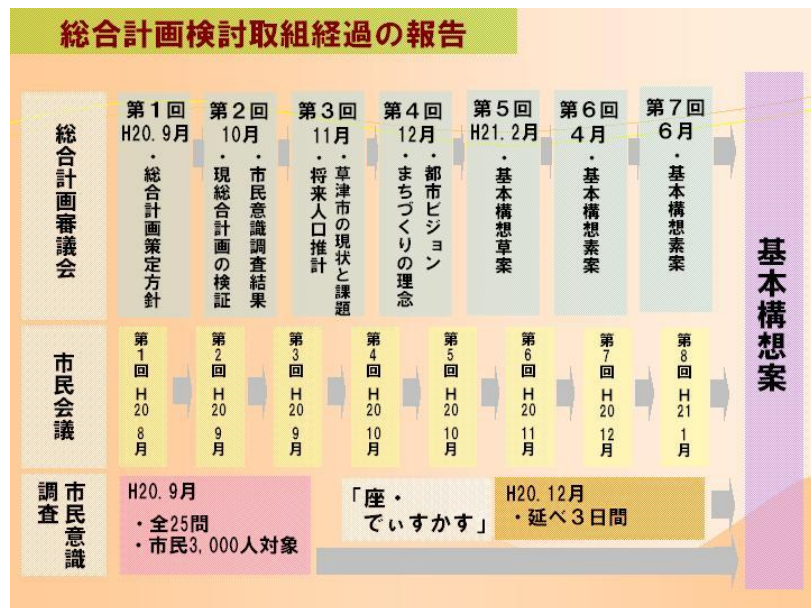
第2期

平成25(2013)年度～
平成28(2016)年度

第3期

平成29(2017)年度～
平成32(2020)年度

総合計画検討の取組経過の報告



市民と行政の取組「市民会議」

市民参画アラカルト

市民参画アラカルト

市民と行政の取組

草津市総合計画策定市民会議

※総合計画策定の取り組みについては、草津市ホームページで情報を公開しています。

<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/www/contents/1222684138124/index.html>

※総合計画基本構想案についてパブリックコメントを実施しています。

<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/www/contents/1245143897391/index.html>

市民会議について

1. 市民会議のメンバー

- 市内で活動する各種団体代表、市民公募委員(20名)
- 市の職員で構成するプロジェクトチーム(20名)

市民と行政の
協働重視

2. 意見交換の手順

- 4部会によるグループワーク、また、要所における全体協議

<各部会のテーマ>

第1部会	安心・安全、人権、環境	第3部会	都市基盤
第2部会	健康・福祉、教育、文化 スポーツ	第4部会	協働

会議の内容

第1回	趣旨説明、草津市の概況把握、部会の編成	全体会
第2回	“わがまち草津”を語り、草津のまちを見ましょう!	部会
第3回	まちを歩いて、よいところや課題を確認しよう	
第4回	草津のまち全体をながめてみよう	
第5回	将来の草津のまちをイメージしよう	全体会
第6回	これからのまちづくりを考えてみよう①	部会
第7回	これからのまちづくりを考えてみよう②	
第8回	検討結果の取りまとめと構想への反映について	全体会



現況・課題に関する意見 <第1部会>

現況

課題

環境

- 琵琶湖が身近である
- 田園地域が残っている

- 豊かな自然が減りつつある
- 魅力ある公園整備が必要
- 環境問題に取り組む必要がある

人権

- 市民の人権意識が高い
- 文化の違いと理解の難しさがある

- 人権意識の啓発が必要

安心
安全

- 災害は少ないが対策が必要
- 草津川跡地の活用が十分ではない

- 地域防犯を強化する必要がある
- 草津川跡地を多目的に活用する

現況・課題に関する意見 <第2部会>

現況

課題

福祉
健康

- 高齢者の活躍の場が少ない

- 高齢者の社会参加の促進

教育
スポーツ

- 大規模スポーツ施設がない
- 生涯学習の制度・運用の充実が必要

- 子どもが育つ環境づくりが必要
- 生涯学習関連情報の集積・発信

文化

- 歴史的・文化的な魅力がある
- 文化的な魅力が不足している

- 観光資源がネットワーク活用されていない
- 文化芸術の発信・交流拠点がない

現況・課題に関する意見 <第3部会>

現況

課題

都市基盤

- 人口の増加による活気がある
- 駅前の開発が急に進んでいる
- 生活に必要なハードが充実している

- 慢性的な交通渋滞
- 公共交通機関が不便

産業

- 商店街の店舗の連続性がない
- 商店街が生活者、観光客にも魅力が小さい
- 第一次産業が盛ん
- 産業上の立地が良い

- 商店街の活性化
- 観光資源が点在して、ネットワーク化されていない
- 第一次産業の振興が必要
- 計画的な土地利用による産業育成が必要

会議の様子



グループワーク



発表

現況・課題に関する意見 <第4部会>

現況

課題

協働

- 新住民同士・新旧住民の交流が少ない
- 市民センター、まちづくりセンター、公民館など利用しにくい
- 多様な人々が市民活動に参加するべきだ
- まちづくりセンターの運営協議会方式はよい
- 立命館大学の学生などがまちに活気を生んでいる

- 地域コミュニティの機能が弱まっている
- 市民活動に広がりが必要である
- 市民センター、まちづくりセンターなどの市民活動の拠点充実が必要
- 大学や企業を巻き込むことが必要
- 市民と行政の協働を進める必要がある

働

将来像について

草津市の将来像に関わるキーワード

「共生」「ライフスタイル」「変化への柔軟な対応」

さまざまな環境(自然、働く場、暮らし、マイノリティ)の共生が可能なまち

- 市民と行政による共生の仕組みづくりを進める

多様な人々のライフスタイルを大切にできるまち

- 「10年後、高齢者の暮しやすいまち」を基本に、「草津で働くライフスタイル」「通勤するライフスタイル」「自家用車に頼らないライフスタイル」など多様な人々のライフスタイルを大切にできるまち

時代の風の循環に対応できるまち・生活視点・オーダーメイドのまち

- まちづくりのすべてを市民目線で考えることを通じ、学生ベンチャーの育成など大学が立地する草津市の特性を活かしたまち

「取り組み」に関する意見 <第1部会>

	施策の方向	事業
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在残っている自然環境の保全 ○ 市民一人ひとりができることを実践した環境保全活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境保全計画の策定に向けた調査研究 ○ 環境美化啓発活動の推進
人権	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権意識の啓発 ○ イベントにとどまらない日常での理解の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モニュメントによる人権意識の啓発 ○ 外国人の子どもの教育支援の推進など
安心 安全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大震災を想定した地域防災の取り組み ○ 市民の防災意識づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア活動との連携や広域連携の重要性 ○ 市民の自主防災組織の強化

「取り組み」に関する意見 <第3部会>

	施策の方向	事業
都市 基盤	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャパシティに見合った交通体系と基盤整備 ○ 歩いて暮らせるまちづくり ○ 生活利便施設の整備 ○ 適正な産業施設の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩行者にやさしい道路整備の推進 ○ 市民参加による公共交通機関の充実 ○ 道路整備の推進 ○ 産業施設の整備計画の策定
産 業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中心市街地の活性化 ○ 草津のブランドづくり ○ 草津の特色に基づいた誘致戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民間がリードする形のまちづくり組織づくり ○ 土地利用の方針・規制やハード整備について行政がバックアップ ○ 空き店舗におけるチャレンジ・ショップや屋台村のようなイベント実施 ○ 地産地消の促進において生産現場とレストランなどの連携 ○ 研究部門やハイテク企業の誘致

「取り組み」に関する意見 <第2部会>

	施策の方向	事業
福健 社康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを始め、様々な世代が安心して過ごせるような場の整備 ○ 高齢者・障害者の生活支援の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園の整備や、既存の施設(学校のグラウンドや旧草津川跡地)の活用 ○ 公共交通機関を活用した外出支援
ス教 ポー ツ育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い世代による子どもの育成支援ネットワークの形成 ○ 生涯学習関連情報の集積、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の社会参加の促進 ○ 生涯学習情報検索システムの整備
文 化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草津の地域資源のブランド化 ○ 草津の特産物・イベントの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民によるブランドの開発、普及 ○ 文化ホールの活用 ○ 観光資源の開発促進

「取り組み」に関する意見 <第4部会>

	施策の方向	事業
協 働	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい市民層と共生できる草津市オリジナルの協働創出 ○ 市民に親しまれる中間支援施設づくり ○ 公共施設運営への民間活力の導入 ○ 市民活動の広がりを促進する仕掛け ○ 市民・地域・ボランティア、大学・民間のネットワークづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者向けコミュニティビジネスの支援 ○ 「市民活動ワンストップサービス窓口」の設置 ○ まちづくりリーダーの育成と発掘の推進 ○ 地域別のグループ育成からテーマ別のコミュニティ・市民活動の育成 ○ ボランティアに関する学習機会の充実